

副専攻名		環境都市工学					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)							
<p>持続可能な都市環境および地域環境の構築と保全に貢献できるための基礎・応用的な知識と技術を身につける。 そのため、上記に関連する自然科学・社会科学の基礎・応用科目群を配置する。</p>							
副専攻の学習成果							
<p>・環境・都市・地域・交通システムの基礎的なメカニズムを理解できる。 ・上記に関する調査・計画・デザインに必要な応用力を身につける。</p>							
副専攻を構成する科目							
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講クォーター・単位数			
				Q1	Q2	Q3	Q4
44162	環境技術	1. 環境中の分子拡散と吸着現象を表現する基本的な法則を理解する。 2. 環境中の粒子と流体の相互作用を表現する基本的な法則を理解する。 3. 環境中の物質移動を利用した環境技術の機構と性能を理解する。	3	1			
44168	上水道学	上水道の基本的計画法及び浄水処理方法、下水道の基本的計画法および下水処理方法の基本原則を習得する。	3		1		
44169	下水道学	都市の環境衛生を維持管理するために、下水道の基本的計画法および下水処理方法の基本原則を習得する。	3		1		
44109	大気環境工学A	大気環境に放出される各種有害物質の現状、法規制を学習し、大気汚染を軽減し快適な空気環境を作り出すための手法を理解する。	3			1	
44110	大気環境工学B	大気環境に放出される各種有害物質の発生源対策技術と大気中への汚染物質の拡散予測手法を学ぶ。	3				1
44140	廃棄物工学	廃棄物の発生から最終処分までの流れを一貫して学習することで、その理念、政策、技術に関する基礎知識を身につける。	4	1			
44177	環境反応工学A	1. 化学量論の基礎について理解し、環境中の反応の量的関係を定量的に記述・算出することができる。 2. 化学反応速度論の基礎について理解し、環境中の化学反応速度を定量的に記述・算出することができる。	3			1	
44182	環境反応工学B	1. 環境中における生物反応の量的関係と反応速度を定量的に記述・算出することができる。 2. 環境中および流通反応装置における物質の輸送現象を理解し、流通反応場における化学反応の量的関係と反応速度を定量的に記述・算出することができる。	3				1
44166	都市計画	1. 都市計画の基本的考え方を理解し、主要な専門用語を説明できる。 2. 都市と都市計画の歴史を理解し、都市づくりにおける都市計画の役割を説明できる。 3. 都市を対象とする各分野の計画の方法や手法を理解し、説明できる。 4. 主要な都市計画先進国および日本の計画制度を理解し、説明できる。 5. 小論文の作成を通じて、これらの理解を深め、論理的に表現できる。	3		1		
44167	道路・交通政策論	1. 道路の交通容量やその設計法を理解する。 2. 道路政策や道路計画についての基本的な考え方を修得する。	3		1		
44176	交通工学	1. 交通流のマクロ的およびミクロ的な記述方法を理解する。 2. 交通の調査・把握・設計の方法を習得する。	3			1	
44181	交通需要予測	交通調査の実態について学習したうえで、離散選択モデルや交通ネットワーク分析を用いた交通需要予測を習得する。	3				1

44187	景観デザイン学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築景観の計画・設計・デザインに関する基本的考え方を理解し、主要用語を説明できる。</li> <li>2. 建築景観について、対象を分析・評価し、それを言葉や文章で表現できる。</li> <li>3. 実際の社会における景観デザインに関する諸問題について、授業で学んだ内容を活用して、各自の意見の提示、対応の方法を示すことができるようにする。</li> </ol>	4	1			
44189	スマートシティ概論	<p>本授業の目標は、学類において、土木建築分野の高い技術力・研究開発力を活かし、各種都市問題に対するソリューションを提示するとともに、新たな価値を創造し、新しいライフスタイルに向けてスマートシティモデルを理解する。</p>	4		1		

各科目の「学生の学習目標」を達成することにより、「副専攻の学習成果」に達成します。